

## 輪島市に「軽消防自動車」を寄贈

～輪島消防署で寄贈式を開催～

日本損害保険協会（会長：城田 宏明）では、地域の防火・防災力強化を目的として2024年度に寄贈する軽消防自動車9台のうち1台が石川県輪島市に寄贈されることから、2月6日（木）に奥能登広域圏事務組合輪島消防署において、関係者出席のもと、寄贈式が開催されました。

当日は、当協会から大知専務理事が出席し、中山 輪島市副市長に目録を、山吹 輪島市消防団長にレプリカキーをそれぞれ手渡し、軽消防自動車を寄贈しました。大知専務理事からは「今回寄贈する軽消防自動車が輪島市の復興の一助となることを願っています」との挨拶があり、続いて山吹消防団長からは「小回りの利く軽消防自動車は、災害時に迅速かつ的確な対応が可能になる。地域の安全を守るために大切に活用していきたい」と謝辞がありました。

当協会では、消防資機材の寄贈や防火ポスターの作成など防火・防災事業を通じて、安全で安心な社会づくりに貢献してまいります。

### 【ご参考】

- ・軽消防自動車など消防資機材については、防災事業の一環として、1952年度から全国の市町村に毎年寄贈しています。
- ・今回の寄贈により、消防資機材の累計寄贈台数は3,521台となります。
- ・軽消防自動車は、軽四輪駆動車をベースとし、悪路での走行や狭い道路での消火活動に機動的に対応でき、迅速な消火が可能です。



大知専務理事（右）から目録を受取る  
中山副市長（左）



大知専務理事（右）からレプリカキーを受取る  
山吹消防団長（左）



寄贈された軽消防自動車



出席者で記念撮影